

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 学校・保護者・地域が互いに連携し、学校教育目標である、「自ら学び、共に生きる子どもの育成」の実現を図ります。
- ② 保護者や地域の声を反映した教育活動を進めることで、学校とともに児童を育成する中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【令和5年度プール清掃の協力】

6月6日に、コミュニティスクール(以下けやき委員会)も協力して6年児童と共にプールの清掃作業を行いました。

今年度は当日までにプール周辺の木々の伐採や草刈りを行い、当日は児童と共にけやき委員会やPTA・地域の方・教職員が集まり、協力して学校のプール清掃をしました。限られた時間の中で、子どもたちだけでは難しかった部分も、大人の力で最後



まで取り組むことができました。大人も子どもも力を合わせて協働したことで、安全かつ楽しく水泳の授業ができる環境が整いました。

樹木の伐採や草刈りを行ったことで、昨年度より害虫の発生が抑えられ、子どもたちが快適に水泳に取り組むことができました。



【陶芸教室】

3年生は、地域の陶芸家の方を招いて自分たちの住む地域の地場産業である萬古焼の学習として、陶芸教室を開きました。

また4年生は、ばんこの里会館を見学してひな人形の絵付け体験をしました。本校では3年生で焼き物作りを行い、4年生で地域の産業についての学びを深めています。



【米洗川クラブ】

羽津緑の会の方を講師としてお招きし、クラブ活動の時間に、本校横を流れる米洗川(よないがわ)の探検を行う予定でしたが、川の様子が変わったために、川に入ることはできず、川岸から観察するだけになってしまいました。しかし、実際に川を観察することや行灯づくり、原木椎茸の菌植え等を行うことで、地域の自然や特色を知り、地域への愛着を高めることができました。

【6年竹明かり制作の支援】

今年度も、校区の額突山公園のイベントに6年生が竹明かりを制作して出品しました。このことは、地域との関わりが持てる良い機会となりました。



制作にあたっては、まちづくり推進協議会より、地区の行事として6年生に協力していただきました。当日はけやき委員をはじめ、羽津緑の会や保護者も協力して竹明かり制作を実施することができました。このように、地域のイベントに協力することで、地域の一員としての自覚を育む機会にもなりました。

【交通少年団の取り組み】

羽津北地区では、班長・副班長が横断旗を持ち、けやき委員をはじめ、地域の方々に見守られながら集団登下校を行っています。今年度も、集団登下校時の交差点の渡り方を学びました。そのおかげで、子どもたちは、礼儀正しく安全に集団登校をすることができました。この姿を見かけたドライバーの方から「感動した。」という連絡もいただきました。

【図書ボランティアによる読み聞かせ】

昨年度までコロナ禍のため実施できなかった、図書ボランティア(羽津絵本の会・どっこいしょ)による読み聞かせを復活することができました。

学年ごとに日を分けて行い、全クラスで複数のボランティアの方々による読み聞かせを行って



いただきました。児童たちは、真剣に読み聞かせを聞いたり読書への興味や関心を高めたりする機会となりました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策が必要となる中でのスタートとなりましたが、5月に5類になったことで、以前の状態に近づき、今までの学校教育活動が復活できました。けやき委員会としては、再び行うべき取り組みを考えながら取り組んだ1年となりました。

今年度も、子どもたちの教育を守るためにできることを探して取り組むという方向に議論は進み、昨年引き続きプール清掃に協力することになりました。今年度は、プール周りの樹木の伐採をけやき委員の方々が中心となって行っていただきました。清掃日当日は、けやき委員をはじめ、地域・保護者にも呼びかけ、6年児童・教員と共に清掃作業を行っていただきました。また、2月には地域の額突山緑地公園のイベントに合わせてまちづくり推進協議会の方の協力をいただき、6年生で竹明かりを制作することができました。これらは、地域の皆様の「子どもたちのために」という温かい思いから実現しています。また、けやき委員会の方々には、学んでいる児童の様子や行事を参観していただき、前向きに学習に取り組む児童の様子を見ていただきました。



これらの活動を通して、本校の教育について様々な角度からご意見をいただき協議する事ができました。

今年度も、皆様の協力により様々な活動を行えました。今後も地域との連携を大切にすることで、子どもたちのより豊かな人間性を育むことができると考えます。これらは、学校評価アンケートからも窺うことができました。学校評価の児童アンケートで、「話すとき、聞くときのルールを守り、友だちとなか良く勉強している」は95%が、「先生たちは、自分の話をよく聞いてくれている。」では96%の児童が、肯定的な回答をしています。また、児童が落ち着いて学ぶ姿から、保護者アンケートでは、「お子様は、学校のきまりを守って、学校生活を送っている。」について、98%の保護者より肯定的な回答をいただいています。

3 今後に向けて

コミュニティスクール「けやき委員会」は、コロナ禍後の行事が少しずつ再開できるようになり、活動も復活してきました。今後もPTA・地域の団体と連携して取り組んでいく必要があると考えます。また、まちづくり推進協議会と連携した行事も再開しつつあります。これらのことから、地域と保護者・学校が協力し合う関係をより深めていきたいと思えます。今後も、この連携を大切にしながら、これまでの活動の継続と無理のない発展的な活動を目指していきたいと考えています。

今年度も、継続して教職員の働き方改革を啓発していくための「コミュニティスクールだより」を発行することができました。今後も、学校だよりやHP、地域回覧等で積極的に啓発していきたいと考えています。

令和5年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立羽津北小学校

委員長 稲原 清

校長 山中 茂生

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none">・委員委嘱・規約確認・学校づくりビジョン説明と承認
6	第2回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none">・今後の活動について・クラブ見学・プール清掃
7		
8		
9		
10		
11	第3回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none">・学校評価について・コミュニティスクールだよりについて
12		
1	第4回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none">・授業参観・竹明かり制作への協力について・学校関係者評価
2	第5回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none">・6年生を送る会参観・学校関係者評価・今年度の総括と来年度の体制と方針について
3		